

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。  
メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

コーディネータコラム

URA・社会連携センター  
地域連携コーディネータ 内藤 富美晴

地域連携コーディネータの内藤富美晴です。いつもお世話になって  
います。

桜前線の北上が続き日本列島は今春爛漫で、一年で一番良い時期を  
迎えています。甲府盆地も、桜や桃の花などでピンク一色に染まり、  
まさに「桃源郷」となっています。

県内においては、山梨学院高校が春の全国高等学校野球選手権（甲  
子園）に出場し、春夏を通じて県勢初の決勝進出、優勝という偉業  
を達成し、大いに盛り上がるなどお祝いムードが続いています。

本学においては、新たに中村和彦氏が学長に就任し、今期から中村  
体制がスタートいたしました。4月6日には入学式が本来の方法で  
挙行され、また、前期授業は全ての科目において対面での通常授業  
が可能となりましたが、未だコロナの感染が収束に至っていない状  
況の中で、警戒感を持ちながらの生活が当面続くのではないかと  
思われます。

こうした中、新型コロナ対策の緩和と相俟って、国内においては観  
光地などを見ると、景気の回復が目に見える形になってきたように  
感じる一方で、先頃発表された全国企業短期経済観測（短観）によ  
りますと、新型コロナ渦の景気回復に急ブレーキがかかっていると  
報じられました。

これは、長引く原料高、海外経済の減速などから大企業製造業が5  
期連続で悪化していることが要因のようです。

今年の春闘は、大幅な物価高を背景に、3月までに大手企業を中心  
に30年振りに3%を大幅に上回る賃上げ回答が相次ぎました。しか  
しながら、今後は先行き不透明のなかで、製品やサービスの値上げ  
が難しい中小企業には、慎重な対応が予想されますし、賃上げを上  
回る物価の高騰で、実質賃金ベースではマイナスとなっており、“安  
いニッポン”がまだまだ続きそうです。これも景気回復を遅らせる大  
きな要因となっているようです。

さて、本学における最近のトピックス等からいくつかの話題を紹介  
させていただきます。

まず、産学官連携活動についてですが、2月～3月にかけて令和5年  
度の「山梨大学客員社会連携コーディネータ研修」が行われ、15機  
関159名のコーディネータが本学から委嘱されました。同コ  
ーディネータは、大学のシーズと企業のニーズとのマッチングを推  
進し、大学の研究成果を地域で有効利用できるよう活動する方々  
ですので、是非ご利用いただきたいと思えます。

次に、来年（2024年）4月から山梨大学工学部が新しく生まれ変わ  
ります。

新たな社会に貢献できる工学系人材の育成を目的に、分野間の垣根  
を低くし、進路選択が柔軟となるよう、現行の7学科を1学科複数  
コースに再編し、2年次にコース選択を行うこととなります。つま

り、1年次に基礎を学び、2年次から「コース」で専門を学ぶなど、年次が進むにつれて、専門を細分化していくシステムに変わります。また、化学の力でエネルギー問題を解決できる人材を育成するため、新たに「クリーンエネルギー化学コース」が新設されます。

最後は、お酒の話題です。3月10日に3種類の新作ワイン「山梨大学ワイン」が誕生いたしました。

この新作ワインは、山梨大学ワイン科学研究センターの研究成果・技術をもとに、地元の岩崎醸造(株)が醸造したもので、「ホンジョー・ラボ メルロ樽熟成(赤ワイン・フルボディ)」「甲州かもし(オレンジワイン・辛口)」「甲州クリオエクストラクション(白ワイン・極甘口)」で、大学ワインはこれで7種類となりました。

春爛漫の中で、新酒ワインでもいかがでしょうか。山梨工業会で購入が可能です。

【山梨大学 HP】 <https://www.yamanashi.ac.jp/41839>

今年度も、産学官の交流を積極的に行い、地域との連携強化をこれまで以上に進めてまいりますので、会員のみなさま、引き続きよろしく願いたします。

---

### インフォメーション 目次

---

- 01: トピックス (1件)
- 02: 助成事業および公募情報 (1件)
- 03: 事務局からのお知らせ



- 01 トピックス (1件)
- 

#### ◆新学長就任

令和5年4月1日付け中村和彦学長が新学長に就任しました。4月4日(火)に行われた就任記者会見で、中村学長は「本学は、第4期中期目標計画(令和4~9年度)の中で『真に地域の活性化を担い世界で活躍できる大学人を育成する』ことを基本的な目標としており、目標達成のため、教育改革の推進、研究支援体制・地域連携・経営基盤の強化という4つのビジョンを掲げました。今後はさらに諸活動を促進し、実りある成果をあげることによって、『持続的に発展しつつ特色ある魅力に溢れた大学』を創り上げ、山梨県、ひいては我が国の発展につなげていく所存です」と述べました。

学長挨拶 <https://www.yamanashi.ac.jp/about/42234>



- 02 助成事業および公募情報 (1件)
- 

#### ◆【公益財団法人 山梨中銀地方創生基金】

山梨中銀地方創生基金は、地方創生に資する取り組みを行う団体、個人等への助成を通じて、地域社会の繁栄と地域経済の活性化に寄与することを目的に2023年度助成事業の助成先を募集します。

##### ○起業・創業に対する助成事業

助成対象者：2023 起業・創業を予定する、又は起業・創業した法人・個人や、起業・創業を支援する団体等

助成金額：法人・個人、団体等 とも1件あたり200万円以内

応募期間：2023年5月8日～10月13日

##### ○地域産業資源を活用した事業又は地域経済活性化を図る活動にする助成事業

助成対象者：山梨県及びその周辺地域に本店又は主たる工場・事務所等を有し（又はこれから有する）、山梨県の地域産業資源を活用した事業又は地域経済活性化を図る活動を行う個人、団体及び中小企業等

助成金額：1先あたり100万円以内

応募期間：2023年5月9日～8月18日

○U・I・Jターンする個人に対する助成事業

助成対象者：2023年5月1日から2024年4月30日までの間に、U・I・Jターンにより山梨県内の企業へ新たに就職（正規雇用者に限る）し、かつ、山梨県に居住する個人（予定者を含む）

助成金額：1人あたり30万円以内

応募期間：2023年5月8日～11月24日

○技術等向上に取り組む個人等に対する助成事業

助成対象者：山梨県内に居住し、高度な技能・技術・知識向上に積極的に取り組み、将来、山梨県内においてこれらの成果を活用しようとする個人

助成金額：1人あたり50万円以内

応募期間：2023年5月8日～11月24日

詳しくは下記URLよりご覧ください。

<https://www.yamanashi-chihousei.or.jp/furtherance/>

□■

■03 事務局からお知らせ

◆令和5年度新技術情報クラブ会員登録更新について

今年度継続更新をいただきまして、誠にありがとうございました。会費の請求書は5月連休明けを予定しております。

ようやくコロナも小康状態になり、みなさまと対面での活動を少しずつ再開したいと存じます。

今年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、まだ、更新のご意向をご連絡いただいております会員様は、お手数をおかけいたしますが、ご連絡くださいますようお願い申し上げます。

◆技術課題等、ご相談について

技術課題や大学の知恵を借りたいなど、ございませんでしょうか。

会員会社様の持つておられる技術課題を伺います。

ご希望の会員様がございましたら、事務局までお気軽に連絡してください。

■

1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。

2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

■□■

■□■